

モジャコ情報 (平成16年用船調査結果)

調査期間：平成16年3月16日
 調査船：モジャコ漁船 8隻
 調査海域：西薩，南薩，屋久島，種子島，大隅

鹿児島県水産試験場
 平成16年3月19日発行

1【海況】・・・“平年並み”から“かなり高め”

- ・ 黒潮北縁域は平瀬付近にあり(3月15日現在)，離岸傾向にある。
- ・ 定期船による観測(3月15日現在)では，黒潮流域で22.7 (やや高め)，薩南海域で17.9 (かなり低め)，西薩海域で16.6 (平年並み)であった。

1 平年値は，昭和56年から平成12年までの平均値。

2【調査結果】

(1) 流れ藻の分布・・・昨年同期に比べかなり少ない

- ・ 流れ藻の視認個数は合計149個であり，107㍓当たり1.8個で，昨年同期(4.7個/107㍓)の38.3%と少ない。また，平年(4.6個/107㍓)と比較しても39.1%と少ない。
- ・ 採取した流れ藻重量は0.2～11.2kg(平均3.0kg)で，昨年同期(0.4～20.3kg，平均5.8kg)に比べ小型の藻である。
- ・ 甕島西，屋久島北，草垣北東の海域で流れ藻が多かった。

(2) モジャコの付着状況・・・昨年同期に比べ非常に多い

- ・ 採取した流れ藻は33個であり，流れ藻1kg当たりの付着尾数は19.5尾/kgで，昨年同期(1.0尾/kg)の19.5倍と非常に多い。また，平年(5.3尾/kg)と比較しても3.7倍と非常に多い。また，26節の網で漁獲できないサイズが非常に多く付着していた。

(3) モジャコの大きさ・・・昨年同期に比べ非常に小さい

- ・ 採捕したモジャコの全長は平均32.4mm(範囲：15～94mm，モード：30～34mm)であり，昨年同期(50.1mm)より非常に小型で，平年(50.4mm)より非常に小型であった。また，26節の網で漁獲できないサイズが付着していたが，測定することはできなかった。

2 平成10年から平成15年までの3月(用船調査)の平均値。

表1 海況及びモジャコの付着状況(3月中旬用船調査)

調査項目	海 域	平成16年	平成15年	平成14年	平成13年	平成12年	平年(H10～H15)
流れ藻視認個数 (107㍓当たり)	大隅	0.1	0.9	16.6	0.4	0.2	3.6
	種子島	0.5	7.6	6.8	5.9	3.3	4.8
	屋久島	2.1	3.5	15.3	1.5	3.1	4.7
	南薩	2.3	6.7	10.4	1.8	2.1	4.4
	西薩	3.1	4.7	15.5	1.3	2.3	5.3
	平均(全海域)	1.8	4.7	12.9	2.1	2.3	4.6
流れ藻1kg当たり のモジャコ付着尾数	大隅	7.9	0.8	19.3	0.4	231.4	56.0
	種子島	84.4	2.1	11.0	2.3	16.1	8.4
	屋久島	13.5	0.9	7.8	2.8	13.5	13.9
	南薩	11.2	0.7	7.2	0.4	21.5	6.3
	西薩	4.8	0.1	0.7	0.8	0.7	0.9
	平均(全海域)	19.5	1.0	6.7	1.2	11.4	5.3
モジャコ平均全長 (mm)	大隅	31.2	50.8	39.8	55.0	49.0	50.7
	種子島	34.5	48.8	41.3	48.4	44.6	48.5
	屋久島	30.8	52.2	41.8	43.2	62.4	53.1
	南薩	29.8	50.4	38.3	58.2	48.5	47.0
	西薩	25.1	50.8	37.8	45.8	44.2	43.2
	平均(全海域)	32.4	50.1	40.7	47.9	51.1	50.4
定期船観測による 各海域の3月中旬 平均水温()	黒潮流域	22.5	22.52	22.90	22.22	22.25	22.19
	薩南海域	17.8	19.32	20.62	19.14	20.22	19.54
	西薩海域	16.9	16.50	17.22	16.28	18.48	17.33

3 定期船観測による各海域の平均水温()の平年値は，S56～H12の平均である。